



兵ト協ニュース

NEWS For HYOGO TRUCKING ASSOCIATION

2018.1 No. **378**



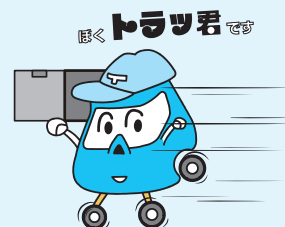
主な記事

- 年頭のご挨拶
- 雪道対策について
- 災害時緊急物資輸送訓練を実施しました

主な同封物

- 運輸系企業のドライバーの腰痛予防の指導方法(管理者向け)
- 陸上貨物運送事業労働災害防止規程のあらまし

CONTENTS



年頭のご挨拶 1

全ト協からのお知らせ

全日本トラック協会が実施する第41回中央近代化基金補完融資の追加公募について 10
雪道対策について 11

事務局からのお知らせ

原価意識強化セミナーを開催しました。 14
災害時緊急物資輸送訓練を実施しました 15

ドライバー教育ツールPART3の連載(第12回)

運転支援装置の役割を正しく理解しよう 16
運転支援装置の機能を理解して安全運転に活かそう 17

理事会だより 18

陸災防のページ

ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内 19
はい作業主任者技能講習会のご案内 20

会員だより 24

協会日誌 26

謹 賀 新 年

新春を迎えますますのご発展とご多幸を心からお祈り申し上げます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

— 平成三十年元旦 —



一般社団法人 兵庫県トラック協会

会 副	会 長	福 原	永 岡	征 謙	秀 一
	”	櫻 堀	井	光 秀	男 夫
	”	藤 尾	原 上	康 昌	夫 雄
	”	木 太	南 田	昌 一	史 志
	”	脇 田	田	啓 政	三 司
専 務 常 務 理 事	専 務 理 事	太 脇 役	田 田 職 員	啓 政 一	三 司 同



年 頭 の ご 挨拶

一般社団法人 兵庫県トラック協会
会 長 福 永 征 秀

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員事業者の皆様はじめ関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、去年は、国内では、将棋の藤井4段、卓球の伊藤選手など中・高校生の活躍、また、陸上競技百メートルでは、大学生の桐生選手が日本で初めて十秒の壁を突破するなど、各年代の若者が活躍し、上野公園のジャイアントパンダ「香香」の誕生など明るい話題もたくさんありましたが、国外では、「イスラム国」関連と見られるテロが各地で発生し、米国での銃乱射事件の頻発、北朝鮮のミサイル実験、さらに日米中韓などによる対北朝鮮対策など緊迫した状況が続いています。

国内経済に目を転じると、去年は、企業部門は生産の増加、家計部門は穏やかな回復、輸出も緩やかに持ち直すなど、緩やかな景気回復基調が続いています。

しかしながら、少子高齢化が加速する中で労働力の確保が困難になっており、政府においても長時間労働是正（働き方改革）・取引環境改善、生産性向上に向け、省庁を超えた取り組みをしていただいている所です。

中小企業が大部分を占める私どもトラック運送業界におきましては、規制緩和による過当競争に起因する運賃・料金下落など、経営環境が悪化する中で、「安全対策」や「環境対策」などに係るコスト負担の増加、ドライバー不足も深刻化しており、業界全体が依然として厳しい経営状況に直面しています。

そのような中、トラック運送業における適正運賃・料金収受の取引環境の改善に取り組むため、平成27年度に、国土交通省、厚生労働省、荷主・運送事業者等を構成員とする「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」が中央と各都道府県に設置され、取引環境の整備、ドライバーの長時間労働削減への検討、パイロット事業（実証実験）を実施したうえで手待ち時間の削減方法や附帯業務の有料化方策等の一定の指針が示されることとなっているところです。

また、中央での協議会の下に設置された「トラック運送業の適正運賃・料金検討会」で適正な運賃・料金収受に向けた方策等について検討した結果、昨年11月に標準貨物自動車運送約款の一部が改正され、運賃と料金の明確化が示されたところでもあります。これらの動きをとらえ、我々も従前以上に、契約の書面化、原価管理に基づく適正運賃・料金の収受に取り組んでいく必要があります。

また、政治的な働きかけも重要であり、昨年も、「高速道路料金の大口・多頻度割引50%の継続」や「働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の創設・拡充」「自動車関係諸税の軽減」などトラック運送業界が直面する諸課題について、国会議員等に要望を行いました。今後も政

治に対して必要施策を強く要請していく必要があります。

運輸事業振興助成交付金の全額交付についても、兵庫県に対し引き続き強く要請していかねばなりません。

このような厳しい中においても、私どもは、我が国の産業活動や国民の暮らしを支える基幹産業であることを改めて自覚し、社会と共生し、その役割を果たしていくことが最重点課題であり、当協会としても荷主や消費者から信頼される業界づくりのため、適正な運行管理、労務管理の取り組み強化、貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク制度）の推進などの『適正化事業の推進』、トラック事業における総合安全プラン2020に基づく諸対策の推進、交通安全思想の啓発やドライブレコーダ等の関連機器導入促進などの『安全対策』、地球環境への負荷の削減を図るため低公害車両の導入支援やエコドライブの普及促進などの『環境対策』にさらに取り組んでまいります。

また、災害時における対策の充実や中小企業近代化対策も積極的に進めていく必要もあります。

当協会では、今年も、会員の皆様と共に、トラック運送業界が抱える多くの課題に着実に取り組み、将来にわたる運送業界の発展のため、一つずつ確実に解決し、社会から信頼される業界・協会づくりに一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのためには、私どもが英知を結集し、業界の抱える諸課題に取り組むことは勿論、政治的な働きかけも視野に据えて、課題の解決に向けた行動を起こしてまいりたいと考えています。

つきましては、会員の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援、ご指導とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆々様のご健康、ご多幸を心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。





年 頭 所 感

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 坂 本 克 己

平成30年の新年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成29年6月29日に開催されました第93回通常総会ならびに第171回理事会におきまして全日本トラック協会の会長に就任し、初めての新春となりました。

わが国経済は、5年にわたるアベノミクスの推進により、名目GDP・企業収益ともに過去最高の水準を記録しています。一方で、景気の回復傾向に伴い、人手不足感が非常に強まっております。労働条件が一般産業と比べて厳しいトラック運送業界では、ドライバーの確保が一段と難しくなっている現状があります。

私は昨年8月から12月にかけて、国土交通省の平嶋隆司自動車局貨物課長とともに全国9ブロック協会を訪問させていただき、47都道府県トラック協会会長等から業界を取り巻く各地の様々な実情についてご意見、ご要望を頂戴してまいりました。その中でも、多くの地域でドライバーの確保が喫緊の課題になっていることを改めて実感いたしました。

全ト協としましては、ドライバーの確保はもちろんのこと、全国各地でいただいた諸課題の解決に向けて、各地の現状把握・分析を行いながら、業界の総力を結集して取り組んでまいり所存であります。

トラック運送業界が健全な発展を成し遂げるためには、何よりもまず、現場で働いておられるドライバーが、仕事に対してやりがいを持ち、幸せに感じていただくことが必要です。また、トラック運送業界で働いておられる全ての方々に、日々誇りを持って働いていただくことが、私の全ト協会長としての責務であると考えております。

そのために、全ト協としましては、まず「業界の生産性を向上させるとともに、ドライバーの長時間労働を是正していくことで、いつまでも安心して働いてもらえるような職場にしていくこと」、そして「それぞれに仕事に見合ったお給料をご家庭にお持ち帰りいただけるようにしていくこと」等の目標に向けて努力していきたいと思います。

さらに、トラック運送業界で働く方々が誇りを持って仕事としていただくためには、「輸送の安全確保」が必要になってまいります。

事業用トラックが第一当事者となる死亡事故件数は、近年減少傾向にあったものの、昨年10月には平成28年1月以来21か月ぶりに前年を上回るという憂慮すべき状況にあります。また、近年はドライバーの健康に起因する事故も問題とされてきております。

全ト協としましては、ドライバーの安全対策に引き続き力を入れていくとともに、健康起因事故防止のための対策も進めてまいります。全ての会員事業者の皆様におかれましては、輸送の安全確保に向けた取り組みの強化を、心よりお願い申し上げます。

今年は、「全ト協設立70周年」という大きな節目を迎えます。様々な施策を通じて「魅力あふれるトラック運送業界の実現」を目指すために、新たな気持ちで精力的に取り組んでいくことをお誓い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



兵庫県知事

井戸敏三

～ 未来への扉を開く ～

新年あけましておめでとうございます。

兵庫県政150周年、2018年の幕が開きました。1868年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、150年となります。

今年は、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して10年。最後の仕上げの時が来ました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの150年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は50年以上、100年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはずです。

今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。2018年、そのための新たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、10年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを産み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境も整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政150年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

兵庫県 150年迎え 新しいふるさとづくり 持続目指さん



平成30年 年頭の辞

神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 岡田 研二

新年明けましておめでとうございます。平成30年戌年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は「一億総活躍社会」実現のための「働き方改革」が躍動した年であったと認識しています。「働き方改革実行計画」においては、時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正が、また国土交通省に関するものでは、関係省庁連絡会議が取りまとめた「トラック・バス・タクシーの働き方改革 直ちに取り組む施策」においても長時間労働是正のための施策が示されたところです。

また、今後高齢者の増加が見込まれる中、社会全体で高齢者の生活を支える体制整備が喫緊の課題となる一方で、働きたい高齢者の就労促進が言われており、昨今のAI・ICT技術の進展を考えれば、「長時間労働是正」「女性・働きたい高齢者の就労」「技術発展等による生産性の向上」推進が、身にあった働き方に導いていくものと思っています。

私ども兵庫陸運部としましては、前段のことも念頭におきつつ、引き続き、安全・安心はもとより、運送においては快適、利便性など旅客・物流サービス向上、労働力不足の解消の支援に努めてまいります。

加えて、「まち・ひと・しごと創生法」「交通政策基本法」「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の趣旨・概念を踏まえ、公共交通の活性化や地域観光の振興を図ることにも注力してまいります。

公共交通機関の安全・安心の確保について

安全の確保は何よりも優先して取り組むべき最重要課題であり、国土交通省では、事業用自動車の事故等削減について、平成21年に「事業用自動車総合安全プラン2009」を策定し取り組んできたところですが、軽井沢スキーバス事故などの大きな状況の変化があったことから、昨年6月には新たに「事業用自動車総合安全プラン2020」を策定し、各業態における目標設定を行うこと等により、より安全な輸送サービスの提供の実現を目指すことになりました。兵庫陸運部においても新たなプランの内容に沿って、取り組みを推進し、さらなる安全対策を図ってまいります。

また、自動車運送事業者に対する監査、指導につきましては、平成28年1月の軽井沢スキーバス事故を受け、監査方針及び行政処分基準等の改正があり、貸切バスについては、行政処分等の基準が厳しくなりました。

悲惨な事故を二度と起こさないとの決意のもと、関係機関との連携を強化しつつ、街頭監査の実施やより効果的な監査を実施するとともに、運送事業の安全・安心の確保のため、各事業者における運輸安全マネジメントによる安全管理体制の確立と更なる推進に努めてまいります。

交通運輸サービスの発展・利便性の向上について

トラックについては、本年の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善兵庫県地方協議会」のパイロット事業結果の取りまとめ、ガイドラインの普及等を通じて、重大な事故につながる恐れのある長時間労働の抑制など労働環境改善への取り組みを進めてまいります。

また、深刻化した自動車運送事業における労働者不足の問題については、喫緊の課題とし、担保となる運賃の範囲を明確化した通達、適正な運賃料金の収受のための改正標準貨物自動車運送約款の周知をはじめ、若年層や女性の労働力活用など官民をあげた取り組みを進めてまいります。

自動車の安全性確保と環境保全、ユーザーの利便性向上について

国土交通省では、交通事故による死傷者数の一層の低減を目指すため、事故分析及び対策の効果評価を踏まえ、安全基準の拡充・強化、ASVプロジェクト及び自動車アセスメントの連携を図りながら、車両安全対策を着実に実施するとしております。兵庫陸運部におきましても、これらを踏まえ、ASV補助金申請の窓口対応や自動車アセスメントのPRにより、その普及活動に努めているところです。

また、政府の掲げる省エネルギー、地球温暖化防止対策等のための次世代環境対応車の普及促進に関しましては、環境に優しい自動車の集中的導入・買い替え促進を支援する事業をサポートしてまいります。

以上、新しい年を迎え、所信を申し上げましたが、関係団体、関係行政機関の皆様方には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、今年一年が皆様方にとって大いなる発展の年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





安全・安心・快適な交通社会の実現を目指して

兵庫県警察本部交通部長 松元 美智久

新年明けましておめでとうございます。

ご家族ともども穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には平素から、交通安全活動をはじめ警察業務の各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

また、トラックドライバーコンテストへの取組のほか、県内各地の学校においてトラックを用いた交通安全教室の開催など、交通安全対策にご尽力いただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

さて、旧年中の兵庫県内における交通事故情勢ではありますが、一昨年に比べ、人身事故件数、傷者数とも減少しているものの、残念ながら死者数は一昨年を超える状況であり、依然として交通事故死者数のうち半数以上が65歳以上の高齢者が占めており、その多くは歩行中、特に道路横断中に発生しております。

とりわけ、高齢ドライバーによる交通事故が県内でも相次いで発生しており、高齢者の交通事故防止対策が最重要課題となっております。

こうしたことから、交通安全教育や運転免許の自主返納の促進を始め、交通事故の抑止及び被害軽減に効果があると期待されている安全運転サポート車の普及啓発など、新たな交通事故防止対策を講じております。

また、平成19年の道交法改正による厳罰化を契機として、飲酒運転による交通事故件数は減少傾向にはありますが、その一方、県内での飲酒運転による交通死亡事故件数は一昨年より大幅に増加し、多くの尊い命が犠牲となるなど、飲酒運転の根絶は道半ばと言わざるを得ない大変厳しい状況であります。

県警察といたしましては、高齢者の交通事故防止対策を始め、飲酒運転根絶に向けた取組の推進や全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底、悪質・危険な自転車運転者の指導取締り等、交通情勢を取り巻く諸問題に的確に対応するとともに、夜間等における交通事故対策として、歩行者等に対しては夜光反射材用品等活用の普及啓発、運転者に対しては早めのライト点灯とハイビームの適切な使用についても広報啓発活動を推進してまいります。

トラック運送事業者の皆様には、安全な陸上輸送を確保していただくためにも引き続き、適正な運行管理や事業所内における交通安全意識の向上に努めていただくとともに、県民の皆様にご意識を浸透させるための各種教室やイベントなどにご協力をいただきますようお願いいたします。

また、トラックドライバーの皆様には、プロドライバーとして、一般ドライバーへの思いやりを持ち、模範となる運転に努めていただきますようお願いいたします。

結びになりますが、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますことを心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



平成30年 年頭のあいさつ

兵庫労働局長 畑 中 啓 良

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人兵庫県トラック協会並びに会員の皆様方におかれましては、心穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、労働行政の推進につきまして、平素から多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、景気は、新興国経済の先行き、政策に関する不確実性の影響などがあるものの、上場企業を中心に収益が順調に推移するなど、緩やかに回復しているとされております。

県内の雇用情勢においても、有効求人倍率が平成に入ってから最高値を更新するなどの改善が続いております。

このような情勢の下、兵庫労働局におきましては、長時間労働の是正、子育て・介護等と仕事の両立など、「働き方改革」の課題に対応するとともに、若者、女性、高齢者、障害のある方等、全ての方々が意欲と能力を十分に発揮し、安心して暮らすことのできる社会の実現に向けて、雇用環境・均等行政、労働基準行政、職業安定行政及び人材開発行政の四行政が一体となり、魅力ある職場・働きやすい職場づくりを積極的に進めてまいります。

労働基準行政においては、依然として後を絶たない過労死等の撲滅に向けて、長時間労働が疑われる事業場に対する重点的な監督指導等を引き続き実施してまいります。

また、昨年10月1日に844円に改定された地域別最低賃金についても、その周知・広報と履行確保に努めてまいります。

労働災害防止対策については、「兵庫第12次労働災害防止推進5か年計画」の総括を踏まえた第13次計画の策定に取り組みつつ、引き続き、労働災害の多い業種の事業場に対する重点的な指導等を実施してまいります。また、ストレスチェック制度等メンタルヘルス対策のほか、治療と仕事の両立支援にも取り組んでまいります。

労災補償については、脳・心臓疾患や精神障害等の労災事案についても速やかな被災者補償を行う観点から、事務処理の一層の迅速化に努めてまいります。

これらの施策の実施に当たっては、地元経済団体や関係団体の皆様、企業の皆様方から様々なご意見をお伺いするとともに、兵庫県、関係市町等の地方公共団体をはじめとする関係行政機関とも積極的かつ有機的な連携を図り、時宜に即した効果的な施策を展開してまいります。

貴協会におかれましても、これら諸施策の推進にご理解とご協力を賜り、引き続き、労働行政へのご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様方の益々のご健勝と、本年が明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全日本トラック協会が実施する 第41回中央近代化基金補完融資の追加公募について

標記について、次のとおり公募されますのでお知らせ致します。

区分	公募期間	推薦期限	推薦決定予定日
一般・物流効率化促進 中小企業高度化 (公募推薦総枠20億円)	平成30年1月4日 から 平成30年1月31日	平成30年2月7日	平成30年2月21日

1 推薦対象事業

(1)トラックターミナル・配送センター等の物流施設の整備に要する資金

- ①近代化・合理化のための事務機器等の設置購入に要する資金を含む
- ②「補修・改修」に要する資金を含む

(2)人材確保及び生産性向上のための設備

- ①福利厚生施設の整備に要する資金（男女別施設（トイレ・更衣室・休憩室等）を含む）
- ②荷役機械購入に要する資金（テールゲートリフターの設置を含む）

※車両購入及び改造は除く

注1 推薦融資の対象となるのは、平成29年度において投資される資金であり、投資時期は資金の支払時期で判断するものとする。ただし、2ヶ年度にわたり一体的な整備が必要な不動産投資等については、平成30年度までの資金も推薦対象とする。

注2 自己資金等で設備代金を支払済みの場合は推薦対象としない。ただし、推薦決定以前に支払いを行ったものであっても、平成29年4月1日以降に「金融機関からのつなぎ融資」、「割賦手形」で必要資金を賄った場合で、本推薦融資の資金が、当該つなぎ融資の一括返済、当該割賦手形の一括組戻しに充当されるものについては推薦対象とする。

注3 推薦対象事業に要する資金には消費税を含めることができる。

2 融資限度

事業規模が1億円以上50億円以内の大規模プロジェクト

平成29年度以降の投資額の30%を限度（投資額の30%が5千万円未満の場合は5千万円）とし、未払金額以内とする。

3 融資利率及び償還期間

取扱金融機関の所定利率による。

償還期間は10年以内(法定耐用年数が10年を下回る設備は、法定耐用年数以内)とする。

4 利子補給率

年 0.3%

1事業者に対する利子補給は、総額で2千万円を限度とする。

5 取扱金融機関

商工中金本支店及び商工中金の代理店

※要綱・申込書等関係書類を希望される方は、兵庫県トラック協会総務部までご連絡下さい。

雪道対策について

近年は、12月～1月に予想を超える大雪となるケースが増え、この時期からの適切な雪道対策が求められます。もし、交通事故やスリップ、大雪等でトラックが立ち往生してしまうと、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。降雪地域を運行する方は、タイヤチェーンを必ず携行するなど、雪道対策を万全に整えてから出発してください。なお、どか雪など突然の大雪が予想される地域を運行する方はダブルタイヤ用トリプルチェーンの携行が必要です。次のページを確認していただき、また下記アドレスから雪道対策、交通規制、気象情報等が確認できます。

記

- ・雪道対策について（全日本トラック協会）
<http://www.jta.or.jp/info/snow.html>
- ・道路情報（交通規制・道路気象）
<http://www.mlit.go.jp/road/roadinfo/>
- ・気象情報（気象庁防災情報）
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
- ・雪道ドライブのきほんの「き」（J A F（日本自動車連盟））
http://www.jaf.or.jp/dguide/yukimichi_drive/



●近年、12～1月に予想を超える大雪となるケースが増え、この時期に備えた適切な雪道対策が求められます。

●もし、交通事故やスリップ、大雪等でトラックが立ち往生してしまうと、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。

●降雪地域を運行する方は、タイヤチェーンを必ず携行するなど、雪道対策を万全に整えてから出発しましょう。

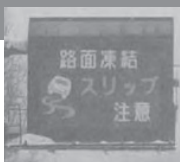
こんな場所は気を付けよう！ 雪道の注意スポット

雪国の方が、雪の少ない地域の人と比べて雪道での事故が少ないのは、運転技術が高いからではありません。それは、今までの雪道での運転経験により、危険な場所や状況を予測しながら運転しているからです。

雪道に不馴れな人でも、雪道で注意すべき場所をあらかじめ知ってから走行することで、危険を回避する確率もグンと上がります！

● 峠道

山間部を通る峠道は、急カーブや日中でも日陰の部分が多く凍結している可能性が高い場所です。また、気象変化も激しいため、注意して通過するようにしましょう。



● 長い坂道

長い坂道は、勾配が緩やかでも凍結して一度スリップし出すと車体のコントロールが効かなくなります。玉突き事故の恐れもあるので、車間距離を十分にとり、一定速度で慎重に走行しましょう。

● 早朝の舗装路

早朝の道路は、前日にツルツルに凍結した路面上に、薄雪が積もっている場合があります。想像以上に滑りやすくなっている事があります。交通量の少ない道路を走行するときは気を付けましょう。

● トンネルの出入口

トンネルの出入口付近は、山からの吹きさらしの風があたり、出入口付近だけ凍結していることがあります。また、トンネルは緩やかに傾斜していることが多いので減速して通過しましょう。

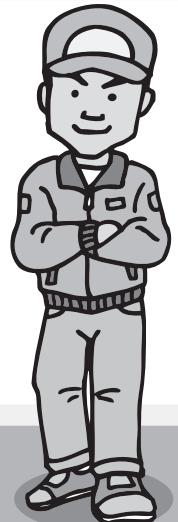


雪道走行の心得



ふゆの みちお
冬野 道男

山形生まれ、山形育ちの中堅トラックドライバー。運送会社勤務で、常に安全に心がけている。東北各地の景勝地めぐりが趣味で、一年中ドライブしている。ポップスが好き。

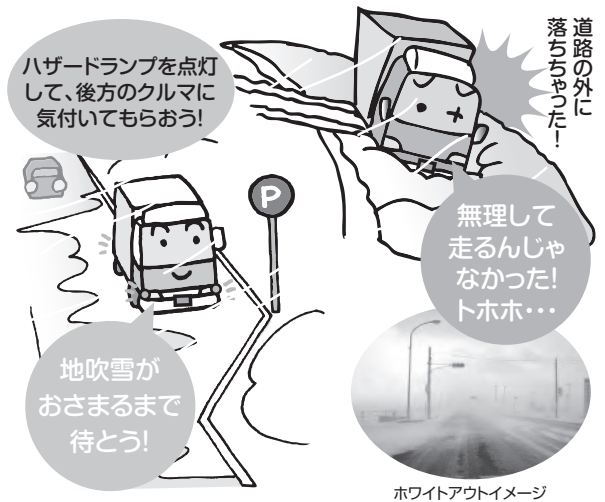


えどがわ さぶろう
江戸川 三郎

東京下町生まれのトラックドライバー。細かいことが苦手で、気が大きくて人情に厚い男気あふれる性格。最近、仕事で東北に荷物を運ぶようになった。演歌が好き。

走行中（緊急時）

強い地吹雪が発生したら、
すぐに安全な場所に避難！



マメ知識

視界ゼロ! 恐怖の
ホワイトアウト現象。

地吹雪時には、ホワイトアウト現象が起こりやすくなります。あわてずあせらずハザードランプをつけ、スピードを落します。急ブレーキをかけるとスリップする可能性があるのでやめましょう。防雪柵設置箇所は地吹雪地帯です。前後の追突に気を付け、車間距離を十分にとってください。

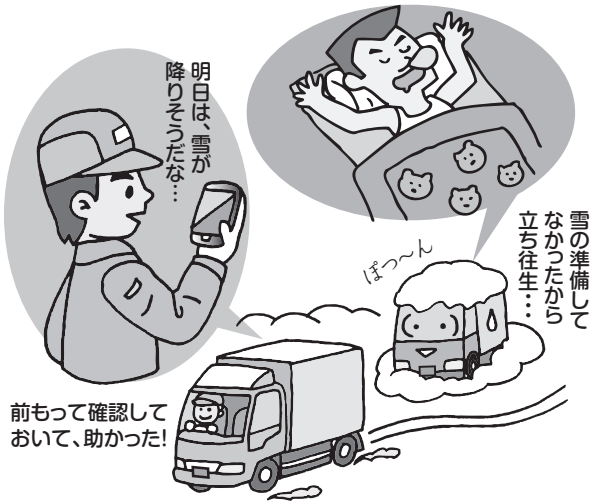


防雪柵

出発前

気象や道路の情報確認！

オイルはとりあえず、早寝でえい！



マメ知識

雪国の冬到来は早い!?

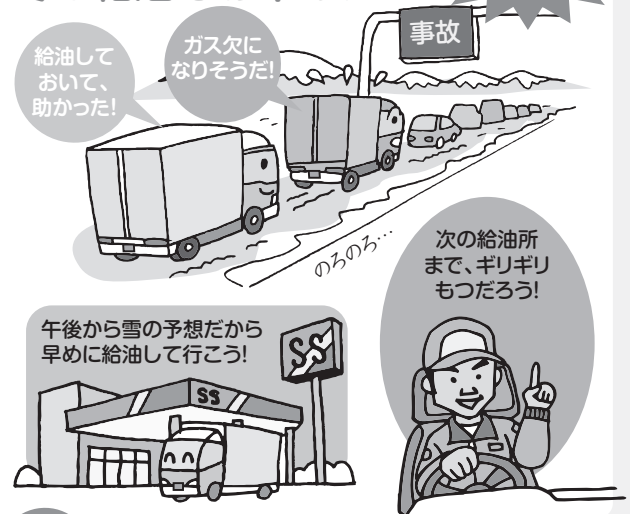
お出かけ直前の気象・路面情報の確認は安全のためもちろん大事なことです。さらに、運行地域の例年の初雪時期を確認しておくことで、余裕をもってタイヤ交換やチェーンなど冬装備の準備ができます。



出発直後

燃料を満タンに！ 冬は給油もお早めに！

スリップ事故
渋滞発生！



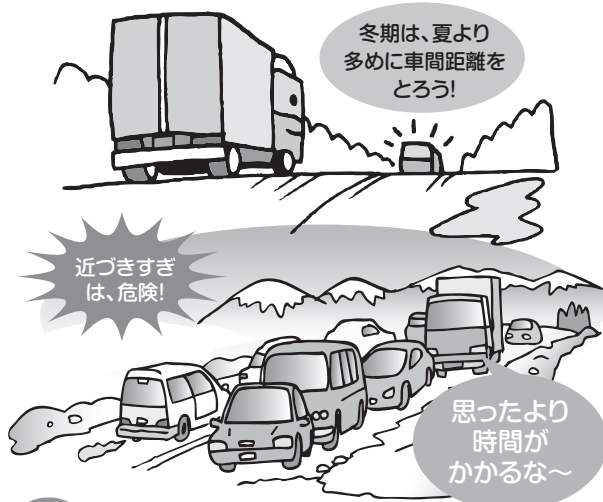
マメ知識

極寒でのガス欠は命取り!?

雪道では、普通の道にくらべ燃料消費が早いものです。また、規制や事故による渋滞・ストップ時でも冬は暖房のためエンジンは掛けっぱなしになります。マイナス10数度にもなる気温の中でガス欠を起こしたら生命の危機に直面することだって考えられます。冬期はいつもより早めの給油が鉄則です。

走行中（降雪時）

車間距離を十分にとり、 心と時間にゆとりを持って！



マメ知識

雪道はすべるもの！ 冬用タイヤへの過信は禁物。

スタッドレスタイヤなど冬用タイヤは年々高性能になっています。しかし、これらを装着したからといって、夏の道路と同じような走行ができるわけではなく、絶対スリップしない完全なタイヤはありません。車間距離を十分にとって、無理をせずゆとりをもったドライブを心がけましょう。

走行中（降雪前）

早めに装着！ 冬タイヤ、チェーン。



マメ知識

ノーマルタイヤでの雪道走行は、 罰則対象になります！

道路交通法等により、積雪又は凍結のため滑るおそれのある道路において、自動車又は原動機付自転車を運転するときは、タイヤチェーンを取り付け、又は全車輪にスノータイヤやスタッドレスタイヤ等を取り付けることが義務付けられており、違反すると罰則の対象となります。（地域により異なる場合があります）

事務局からのお知らせ

原価意識強化セミナーを開催しました。

11月27日(月)、兵庫県トラック総合会館において日本PMIコンサルティング株式会社より小坂真弘氏を講師に公益社団法人全日本トラック協会と共催で原価意識強化セミナーを開催し、41名が出席しました。

講師からは、トラック運送事業を継続的かつ収益力のある産業として発展させていくため、原価水準を適切に把握することにより経営改善に取り組み、荷主との運賃交渉に必要な原価計算の活用について講義をしていただきました。

【研修内容】

基礎編

- ・トラック運送業の原価計算と原価計算シート・車両単位の原価計算

実践編

- ・運行ルート単位、取引先単位の原価計算・輸送特性、業態別の原価計算

強化編

- ・原価計算結果を活用した交渉・原価管理による生産性向上 他

講師：日本PMIコンサルティング株式会社 代表取締役 小坂 真弘 氏（税理士）



災害時緊急物資輸送訓練を実施しました

近年起こると予想されている南海トラフ地震等大規模災害発生の際、国・県等各行政機関等からの緊急救援物資輸送依頼に備え、支部・会員との連携強化と防災意識の向上を図るため次のとおり災害時緊急物資輸送訓練を実施しました。

【訓練想定災害】

平成29年12月1日(金)10時30分頃に和歌山県沖を震源とするM9.0の地震が発生し、震度7の強い揺れが観測され、和歌山県、高知県を中心に地震とそれに伴う津波により建物が倒壊し、多数の死傷者が発生。兵庫県下においても揺れが観測された。

【情報伝達図上訓練】

日 時：平成29年12月1日(金) 場所：兵庫県トラック総合会館

災害時の情報伝達について、災害発生時を想定し兵ト協に災害対策本部を設置、各支部に地区対策室設置を依頼し、兵庫県から緊急物資輸送協定に基づき、緊急物資の輸送依頼を受けて対策本部から各地区対策室に支部会員事業者へ緊急輸送車両の手配を要請し、支部から出動する車両等の確認作業を行いました。併せて、情報収集と職員の安否確認訓練も行いました。

【緊急物資輸送実働訓練】

日 時：平成29年12月2日(土) 場所：三木総合防災公園

前日の図上訓練に基づき、実際災害発生時に緊急物資輸送の輸送拠点のメインとなる三木市にある三木総合防災公園の備蓄倉庫に11支部から要請を受けた11台のトラックが集結し備蓄倉庫から緊急支援物資を積み込み、和歌山県の救援物資集積倉庫に輸送するという想定で、災害時に救援物資の集積場所となる同公園内のビーンズドームまで緊急支援物資を運んで荷卸しをするという訓練を行い、最後に県備蓄倉庫の見学を行いました。



ドライバー教育ツールPART3の連載(第12回)

一部改正された国土交通省告示に基づく指導項目(12項目)について

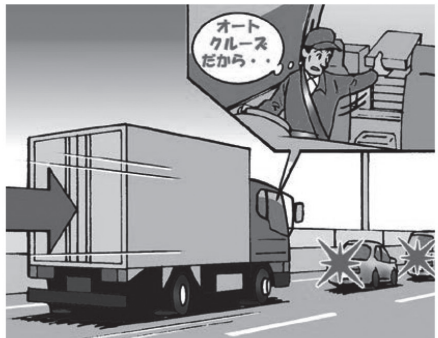
2017年2月号から12回に渡って連載しています。

⑫ 安全性向上装置を備える事業用自動車の適切な運転方法——管理者用資料

運転支援装置の役割を正しく理解しよう

指導のポイント 安全運転支援装置を過信すると事故に結びつく危険があることを理解させ、正しい使用を徹底しましょう。

事故事例



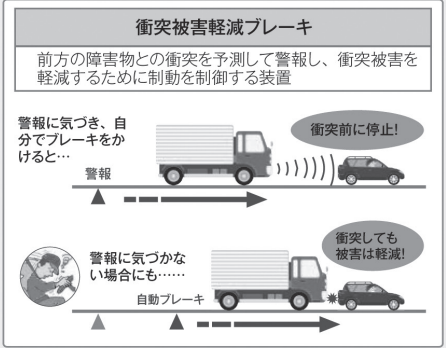
オートクルーズを過信しわき見運転で追突

平成22年9月、大型トラックが高速道路を運行中、運転者が運転席後方の荷物を取ろうとして7秒間もわき見運転になりました。そのため前方の渋滞車両に気づくのが遅れて最後尾の車に追突、1名が死亡し9名が重軽傷を負いました。

事故当時、トラックはオートクルーズコントロール装置を使用して時速85キロで走行していました。運転者は装置に自動ブレーキ機能があると誤解して、油断したためわき見をしてしまいました。

運転支援装置を過信しない

- クルーズコントロール装置は、基本的に車の速度を一定に保つもので、衝突被害軽減ブレーキがついていない場合は、前方に障害物などがあっても減速機能が働くことはありません。
- 近年は「ふらつき注意喚起装置」など、さまざまな安全装備が開発されていますが、すべての危険状態を検知できるものではないので過信は禁物です。



支援装置の正しい使い方を理解しよう

- 安全運転支援装置は、あくまでも「運転者を支援する」ことが目的であり、万能ではないことを理解しておきましょう。
- 運転支援装置はメーカーによって機能の限界や作動方法に違いがあります。また、勝手に装置を解除したりしないように、使用のルールを徹底してください。

■運転支援装置の留意点

衝突被害軽減ブレーキ	・前車の急ブレーキなど衝突被害軽減ブレーキの範囲を超えてしまう場合は、運転者の操作が必要
アダプティブ・クルーズ・コントロール/ACC	・セットした車速と車間距離が維持される安心感から、居眠り運転や、脇見して事故の要因となる場合がある
ふらつき注意喚起装置	・注意喚起なので、居眠り運転や脇見運転をしてしまうと意味がなくなる
車線逸脱警告装置	・後付け装置でウィンカーと連動せず交差点で曲がった際に警告が作動するものもあり、運転者が解除することがある
車線維持支援制御装置	・装置はハンドル操作力の軽減が目的で、装置単体が車線維持を行うものではないので理解が重要
車両安定性制御装置	・横転の危険を軽減はするが、急ハンドルや積雪のある路面等での無理な走行を可能にする装置ではない



運転支援装置の機能を理解して 安全運転に活かそう



ここに
気をつけて



せっかく運転支援装置がついていても、その機能や使い方を理解していないと安全運転に活かせません。正確な機能を理解し過大評価をしないようにしてください。

ドライバーとして覚えておこう

3 安全運転
の
キーワード



ワン

1

装置を理解
していない

ツー

2

安全運転に
活かさない

スリー

3

機能を
正しく理解

理事会だより

平成29年度常任理事・支部長連絡会

日 時 平成29年12月15日(金)

場 所 兵庫県トラック総合会館

福永会長、他常任理事18名が出席し、下の事項を協議しました。

【報告事項】

1 平成30年度税制改正・予算に関する要望状況について

2 その他

- ・兵ト協ニュース原稿「支部だより」の募集について
- ・兵庫県トラック協会会長表彰候補者の推薦について
- ・平成30年兵庫県トラック協会新年祈願祭の開催について
- ・平成30年兵庫県自動車関係団体新春名刺交換会について

議事終了後、自民党国土交通部会長である盛山正仁衆議院議員から最近のトラック運送業界の諸課題等について講演がありました。



ご協力ありがとうございました

交通遺児の募金を寄せられた会員

(平成29年12月14日現在)

H29・12・14

株式会社ショーゼン

28,804円

交通遺児募金の郵便振替口座

○口 座 番 号

01170-6-54803

○口 座 名

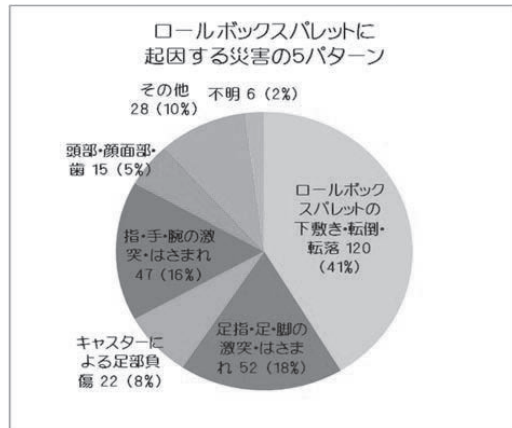
一般社団法人 兵庫県トラック協会募金係

問い合わせ先

陸運労災防止協会 兵庫県支部
(兵庫県トラック協会内)
電話 078-882-5556

ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内

とても便利なロールボックスパレット（カゴ車）ですが、下敷きや手足の負傷による事故が多く発生しています。



- ◎ このため、ロールボックスパレットの安全作業に関するセミナーを開催いたします。
- ◎ セミナーでは、安全な使用方法についてお示するとともに、保護具の紹介もいたします。
- ◎ ロールボックスパレットを使用する事業所の方々のご参加をお待ちしています。
- ◎ 下記により FAX でお申し込みください。受講料は無料です。

日 時：平成 30 年 2 月 7 日(水) 午後 1 時 ~ 午後 4 時
場 所：兵庫県トラック総合会館 **定 員**： 50 名(先着順) ★参加費無料
対 象 者：経営者、安全管理者、安全衛生推進者、作業責任者、ドライバー等作業者
内 容：① ロールボックスとは
 ② ロールボックスパレット起因による労働災害の実態と特徴
 ③ ロールボックスパレットによる災害事例
 ④ ロールボックスパレットの安全作業のポイント
講 師：陸災防本部 安全管理士
申込方法：下記申込書を支部あて FAX してください。先着 50 名で定員です
 陸災防（陸上貨物運送事業労働災害防止協会）兵庫県支部
 問合せ先 078 (882) 5556
修了証：研修の受講者には、本研修を修了したことを証する書面をお渡しします。

----- 切り取らないでこのままお送りください(FAX: 078-882-5565) -----

ロールボックスパレット安全作業研修会 受講申込書

事業場名 _____

所在地 〒 _____

TEL () FAX () 担当者名 _____

受講者氏名		役職名	
受講者氏名		役職名	

はい作業主任者技能講習会のご案内

〈兵庫労働局登録教習機関 [兵労基安登録第14号]〉

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 兵庫県支部

「はい」とは、荷の保管、仮置、検数、薫蒸などを行うために倉庫、上屋または土場に積み重ねられた荷（小麦、大豆、鉱石等のばら物を除く）の集団をいいます。

高さが2メートル以上の「はい」作業（荷役機械の運転者のみによって行われるものを除く）を行っている事業場では労働安全衛生法第14条によるはい作業主任者の資格を取得させ、そのうちから「はい作業主任者」を選任して作業をしなければなりません。

1. 講習日時・会場 注：当日は8時45分より受け付けします。

講習日時	1日目	平成30年2月14日(水) 9時～17時(座学講習)
	2日目	平成30年2月15日(木) 9時～17時(座学講習、修了試験)
講習会場	兵庫県トラック総合会館 3階会議室 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 ※受講者の為の駐車場はありません。	

2. 受講料

	受講料	テキスト代	合計
兵ト協会員	7,000円 (内消費税8% 518円)	無料 (陸災防兵庫支部負担)	7,000円 (内消費税8% 518円)
非会員	7,000円 (内消費税8% 518円)	1,500円 (内消費税8% 111円)	8,500円 (内消費税8% 629円)

3. 受講資格

「はい」付け又は「はい」くずしの作業に3年以上従事した経験を有する方。

※ 受講申込書に実務経験証明書が付随しています。証明者の職氏名(事業場の代表又は責任者の方)の記入及び、押印(丸印)が必要です。(角印は認められません。)

4. 申込要領

- (1) 陸運労災防止協会兵庫県支部事務局へ定員枠の空き状況を電話で確認し、必ず予約受付を行ってから次の①～④を現金書留で次の申込先に郵送して下さい。

予約受付 及び申込書受付期間

平成30年1月9日(火)～平成30年2月9日(金) 必着

ただし、期間にかかわらず定員に達し次第締め切ります。

(定員に空きがあれば、前日まで受付可能ですので、お問合せ下さい。)

- ① 受講申込書 (A4サイズにコピーまたは、切り取ってご使用して下さい)
② 証明写真2枚 (サイズ縦3.6～4cm、横2.4～3cm)

※ 合格された場合の修了証に使用します。スキャナーで画像処理しプラスチックカードにカラー印字いたしますので、スナップ写真、カラーコピー等画像の不鮮明なものは使用できません。

証明写真2枚のうち1枚は、①の受講申込書に貼り付けて下さい。

※ 写真の裏に氏名を記入して下さい。

③ 運転免許証の写し（住所変更している場合は、裏面必要）

④ 受講料

納入された受講料等は、受講票を発行した以後は、一切返金いたしません。

受講票は、申込後約1週間程度で所属事業場宛てに郵送いたします。

（申込先）

〒657-0043 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 兵庫県トラック協会内
陸運労災防止協会兵庫県支部
電話 (078) 882-5556

※ 持参される場合の受付時間は、10時～17時（12時～13時は除く）。

5. 持参品

受講票・筆記具（えんぴつ・消しゴム・ボールペン）

6. 修了証

法定の講習時間を受講し、修了試験に合格した方には、後日、修了証を郵送いたします。

2日のうち1日でも欠席の場合は不合格となります。

7. 留意事項

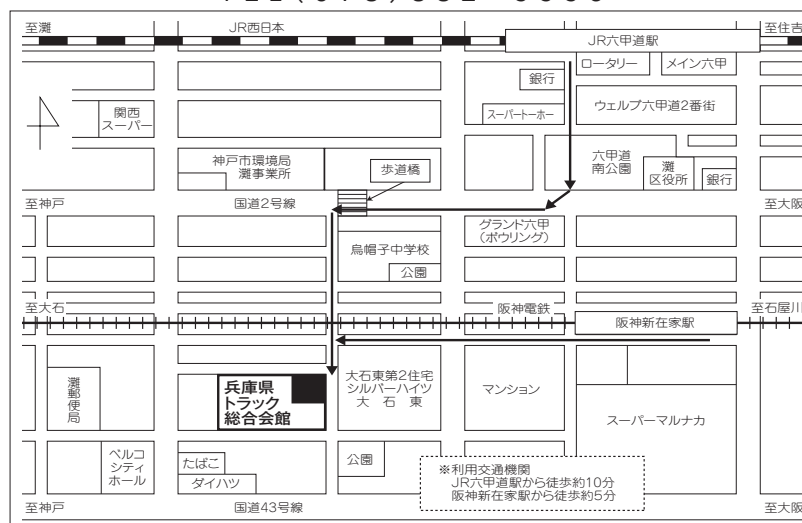
修了試験において不合格となった場合、追試験を1回のみ受験することができます。

追試験を希望される場合は、受験料2,160円（税込）が必要となりますのでご留意下さい。

はい作業主任者技能講習会場 兵庫県トラック総合会館

神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

TEL (078) 882-5556



はい作業主任者技能講習会

受講申込書

修了証台帳

写真貼付して下さい。
縦3.5 c m
横2.5 c m

ふりがな		性別		※
氏名		男 ・ 女	修了証 番号	
生年月日	年 月 日生	交付年月日		※
現住所 <small>(修了証に載ります)</small>	〒 電話 (携帯電話)			
勤務先	所在地	〒 電話 F A X		
	名称			

本人確認 ※		
--------	--	--

証 明 書

受講者氏名 _____ ㊟

上記の者は、はい付け又ははいくずしの作業に _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで
3年以上従事した経験を有する者であることを証明します。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

事業者名 _____

事業者 _____ ㊟

書替・再交付年月日	※ _____ 年 _____ 月 _____ 日	本人確認書類 ※	
-----------	---------------------------	----------	--

(注) ※以外は申込者において全部記載すること。

ご記入いただいた個人情報は、当講習会の実施及び修了証交付の為にのみ使用します。

燃 料 価 格 情 報

軽油「元売別」購入価格表（平成29年11月末現在）

（単位：円／ℓ）

元売名	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
J X 日 鉱 日		94.74	93.18	97.18	
出 光		91.40	95.86	98.00	
J エ ナ ジ ー		93.00		103.00	
コ ス モ		90.80	94.10	98.60	
昭 和 シ ェ ル		90.69			
モ ー ビ ル		96.20		94.00	
エ ッ ソ		91.10	93.00		106.00
三 井		90.60			
そ の 他		90.22	88.34	94.58	99.18
総 計		91.85	91.60	96.98	100.16
29 / 10	全国平均	86.51	調査なし	92.78	94.79
	近畿平均	85.30		92.89	94.24

兵ト協
調 べ

全ト協
調 べ

（消費税抜き）

軽油価格年間推移表（兵ト協調べ）

（単位：円／ℓ）

集計月	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
平成28年12月		76.60	79.52	84.38	84.29
平成29年 1 月		81.18	85.41	87.95	88.38
平成29年 2 月		82.44	85.82	90.06	90.81
平成29年 3 月		81.77	86.50	90.24	89.68
平成29年 4 月		84.44	87.83	91.45	94.33
平成29年 5 月		83.64	86.94	91.34	91.98
平成29年 6 月		81.76	86.09	89.81	91.24
平成29年 7 月		81.10	84.84	88.91	91.15
平成29年 8 月		81.74	84.68	89.02	91.06
平成29年 9 月		81.93	84.88	85.39	90.44
平成29年10月		83.60	85.15	89.43	91.70
平成29年11月		86.95	87.19	92.51	96.37
平成29年12月		91.85	91.60	96.98	100.16
年 間 平 均		83.00	85.88	89.80	91.66

※前月分の価格データを集計しています。

（消費税抜き）

“軽油は兵庫県下で買いましょう”

会 員 だ よ り

入会届

入会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名	主たる連絡先	
29.11.20	北播	一般	(有)Y.S.M CORPORATION	飛 田 義 美	〒679-0323 西脇市黒田庄町西澤328-2	TEL 0795-28-2456 FAX 0795-28-4340
12.6	東神戸	一般	国本運輸(株)	国 本 裕 也	〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町2-2-10	TEL 078-841-6338 FAX 078-841-6338
12.18	西神戸	一般	(株)ヘブロン	松 平 成	〒653-0037 神戸市長田区大橋町2-1-15-302	TEL 078-621-6767 FAX 078-621-7717

変更届

会員名簿 ページ数	変更事項	旧	新
15	代表者	フ ク ユ 貨 物(株) 松 下 光 子	松 下 要
18	FAX	(株)メイセイトランスポート 06-6431-2002	078-435-1766
42	会社名 代表者	(有)治 紀 建 設 澤 本 卓 己	(株)治 紀 建 設 澤 本 智 紀
60	代表者 住所 TEL/FAX	みなと運輸(株) 松 本 浩 之 神戸市東灘区向洋町東1-4 TEL 078-845-3701 FAX 078-858-6004	山 川 温 円 姫路市白浜町宇佐崎南2-76 TEL 079-245-1925 FAX 079-246-0913
71	会社名 代表者	(株)ゼ ロ 北 村 竹 朗	(株)ゼロ・プラス西日本 小 宮 大 二 郎
164	支部	立 正 運 送(株) 西 播 支 部	東 播 支 部
172	FAX	谷 商 事(有) 079-670-7461	079-670-7462

会員名簿の訂正とお詫び

兵ト協ニュース11月号に同封し配付させていただきました上記会員名簿の記載内容について、以下の誤りがございましたので、お知らせ致しますとともに、お詫びのうえ下記のとおり訂正させていただきます。

つきましては、大変お手数ですが、お手元の会員名簿について、訂正をお願いいたします。

この度は、会員の皆様と該当の事業者様、関係者様に大変ご迷惑をお掛けいたしましたこと心より深くお詫び申し上げます。

ページ	支部	会社名	項目	誤	正
165	西播	YMS	事業種別	般	般・利

兵ト協ニュース表紙写真募集について

■応募資格

(一社) 兵庫県トラック協会会員事業者及びその従業員の家族。

■募集内容

●兵庫県の風景(季節感の溢れたもの)、建築物、動植物等の写真(いずれも写真の中に特定できる人物が写っていない)。

■応募方法

●会社名・氏名(ふりがな)・会社電話番号を明記した電子データ(CD-Rなど)で提供してください。

●撮影場所がわかるようにしてください。例:竹田城跡(朝来市)

■その他

●応募作品は未発表のものに限ります。

●採用する場合は表紙に撮影者の氏名と会社名を記載します。

●採用した方には粗品をさしあげます(クオカード)。

なお、応募作品は返却いたしません。

※ご応募いただいた作品の著作権ならびに所有権は(一社)兵庫県トラック協会に帰属し、返却はいたしません。

採用者に事前に通知しませんが、粗品の発送をもってかえさせていただきます。

ご応募いただいた個人情報につきましては、採用通知、粗品送付の目的にのみ使用いたします。



会員情報だより“募集中”

～貴社の記事を掲載しませんか??～



この度、兵ト協ニュース平成30年4月号より会員事業者の記事を毎月掲載予定しています。それに伴い、兵ト協ニュースに掲載する会員事業者を募集しております。幅広いご内容での記事を募集予定ではありますが、以下の内容を参考としてください。

●会社概要(設立年、代表者氏名、住所、従業員数、車両数など)

●会社で力を入れていること(安全教育、採用活動、産休・育休など)

●創業時の苦勞 ●今後の目標

●その他(社長・社員の趣味、社員旅行などの行事) ●写真

記事はA4 1/2ページ又は1ページを予定しています。

■応募宛先

〒657-0043神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

(一社) 兵庫県トラック協会総務部行

E-mail:hta@hyotokyo.or.jp

協会日誌

月日	行事名	場所	月日	行事名	場所
12・1	年末の交通事故防止運動(～10日)		1・17	ひようご安全の日推進県民会議	HAT神戸
	防災訓練(情報伝達訓練)	兵ト協		兵庫交通労働災害防止関係機関連絡協議会	兵庫労働局
2	防災訓練(実働訓練)	三防本警合 防災会園	18	天狼会 新年例会	蘇州園
4	大阪湾港湾BCP計画推進協議会机上訓練	神戸地方 合同庁舎	19	兵ト協 東部支部 新年会	ホテルホミン グインアミン
	兵庫県高圧ガス大会 実行委員会	兵庫県中央労働 センター		整備管理者選任後研修	兵ト協
5	全ト協 海コン部会 正副部会長会議	全ト協	20	兵青協設立30周年記念式典	ANAクラウンプラザ ホテル神戸
6	人権啓発研修会	兵自動車 県館	22	兵ト協 東神戸支部 新年会	神急 戸 東
	特殊車両通行許可オンライン申請講習会	兵ト協		陸災防 近畿ブロック支部長・事務局長会議	大急 阪 新 阪 ホ 神 急
7	災害に強い物流システム構築に関する協議会	運輸局	23	兵ト協 取扱・食品部会合同「新春荷主懇談会・研修会」	ホテルオークラ 神戸
	全ト協 全国トラック協会会長会議	第一ホテル 東京		全ト協 全国トラック協会・新年賀詞交歓会	パレスホテル 東京
	全ト協 理事会	第一ホテル 東京		兵ト協 西宮支部 新年会	やっこ旅館
8	整備管理者選任後研修	兵ト協	24	兵ト協 東播支部 新年会	東京田村店
	神戸市緊急物資集積拠点現地確認	神戸グリーン センター		輸送秩序改善連絡会(三木会)	兵ト協
9	兵青協HOT21定例会	民よし 宿か	26	兵ト協 尼運協 新年会	ホテルニュー アルカイック
	兵ト協 海コン部会 役員会	元町青葉		兵ト協 兵庫・西神戸支部合同新年会	第一樓
10	年末年始の安全総点検(～1/10)		27	兵ト協 丹有支部 新年会	宝魚園
12	近畿地区物流政策懇談会	大 阪 新 阪 急 ホ テ ル	29	兵庫県交通安全対策委員会合同部会	兵 会 庫 県 民 館
13	高速道路交通安全協議会 幹事会	兵庫 全 交 通 全 協 会		災害対策シンポジウム	大 歴 史 博 物 館 阪 館
14	全ト協 女性部会設立総会	第一ホテル 東京	30	運行管理者試験事前研修会	兵ト協
15	兵ト協 常任理事・支部長連絡会議	兵ト協		—2月の予定—	
18	全ト協 事業計画検討小委員会	全ト協	2・5	整備管理者選任後研修	姫路市勤労 市民会館
	全ト協 タンクトラック・高圧ガス部会「各府県部会長会議」	全ト協	6	情報化支援セミナー	兵ト協
19	全ト協 坂本会長との懇談会	ホテルグラン ヴィア大阪	7	陸災防 ロールボックスパレット安全作業研修会	兵ト協
	近畿地区適正化事業部課長会議	大ト協		自動車関係団体連絡会	兵 庫 県 自 動 車 会 館
	全国産業安全衛生大会 実行委員会	神戸三宮東 急REIホテル	9	引越基本講習	兵ト協
20	適正化事業指導員研修及び本部・支部事務局長連絡会議	兵ト協	10	青年部協議会 HOT21 新春定例会	大 和
	—1月の予定—		14	平成29年度第3回はい作業主任者技能講習会(～15日)	兵ト協
1・9	兵青協 設立30周年記念実行委員会	兵ト協	15	初任運転者特別講習(大ト協主催)	大阪府トラ ック総合会館
	KTS正副部会長会議		16	全ト協 交通対策委員会	全ト協
10	兵庫県自動車関係団体新春名刺交換会	神戸市 市 勤 労 会 館	19	整備管理者選任後研修	兵ト協
	兵ト協 新年祈願祭	生田神社	20	運輸安全マネジメントセミナー	兵ト協
11	整備管理者選任後研修	姫路市勤労 市民会館		近ト協 理事会	未 定 (大阪市内)
	全国専務理事業務連絡会議(～12日)	桂(静岡県) 川	22	兵庫県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会	神 国 際 会 館 戸 館
12	兵ト協 西播支部 新年会	ホ テ ル 日 航 姫 路		全ト協 環境対策委員会	全ト協
13	兵ト協 明石支部 新年会	西明石キヤ ッスルプラザ	27	運輸安全マネジメントセミナー	姫 路 市 民 会 館
	兵ト協 淡路支部 新年会	淡路島 洲 本 館 温泉 海 月	28	全ト協 労働安全・衛生委員会	全ト協